

平成26年度における剰余金の概要

I. 損益計算書等における利益（剰余金）

◎損益計算書の概要	(単位：百万円)
経常費用	2,015
経常収益	2,075
経常利益	60
(=経常収益－経常費用)	
目的積立金取崩額	12
当期総利益	72

II. 平成26年度決算における剰余金の主な要因

(経費の節減)

- (1) 効果的な人員配置等に努めたことに伴う人件費の節減によるもの…約 58 百万円
・地方独立行政法人の特性を活かし、職員の雇用形態を多様化（正規職員以外の職員の雇用形態として、契約職員等を活用）したことに伴い、人件費の経費節減に努めたもの
- (2) 外部研究資金等の獲得努力と併せて経費の節減に努めたもの……約 8 百万円

III. 利益処分（案）について

当期総利益 約 72 百万円

約 6 百万円 ⇒ 積立金とするもの

約 66 百万円 ⇒ 知事の承認を受け目的積立金とするもの